

交通安全通信

第六十八号(夏号)

夏の交通安全県民運動



【期間】
令和七年七月十一日から
七月二十日までの十日間
実施されます。

【スローガン】
安全をつなげて広げて事故
ゼロへ



～地域交通安全センター～
スルガ自動車学校

〒424-0204
静岡市清水区興津中町522-1

【運動の重点】

① こどもと高齢者の
交通事故防止

② 自転車と二輪車の
安全利用の推進

③ 飲酒運転等
危険運転の根絶

【静岡市年間テーマ】

自分自身と相手を守る
交通ルールと

マナーの徹底

人も車も自転車も



清水警察署 交通課
金岩係長 より

ぶつけて逃げたら
重大犯罪
自転車事故でも
届け出を

自転車事故でのひき逃げ
も、絶対にあってはならな
い犯罪です。

もしあなたが交通事故に
あい、置き去りにされたら、
どれほど不安で、心細いで
しょうか。また、助がなけ
れば命に関わることもある
でしょう。

誰もそんな思いはしたく
ないし、誰かにそんな思い
をさせてもいけません。
あなたが交通事故を起こ
したその時、一瞬の判断が、
あなたの人生を大きく変え
てしまいます。くれません。
パニックになって、怖く
なつて、自分は悪くないと
決め込んで、どんな理由が
あっても、相手を助けずに
その場から立ち去ることは、
救護措置義務違反(ひき逃
げ)という悪質・重大な
犯罪です。

【救護措置義務違反】
十年以下の拘禁又は
百万円以下の罰金

もし事故を起こしてしまっ
た場合は、その場で止まり、
相手を助けて、警察に連絡
しましょう。

また、ぶつからなかった
としても、交通事故と認め
られる場合があります。ぶ
つかりそうになって、相手
が避けて転んだ場合などで
す。あなたの運転が原因で
相手がけがをすれば、事故
の起因者となり、その場か
ら逃げれば「ひき逃げ」と
なります。

また相手の方が「大丈夫」
と言ってその場を立ち去つ
たととしても、必ず事故の届
け出をしましょう。

この場合も状況によつて
は「ひき逃げ」となる場合
があります。

自転車の
交通ルールを学ぼう

自転車は車の仲間なんど
す。なので道路では車と同
じようにルールを守らない
といけません。

信号が青になつてもいき
なり飛び出したりしないで、
左右をちゃんと確認してか
ら進ようにしましょう。

歩道を走る時は特に注意
が必要です。歩行者が優先
になるのでスピードを落と
してゆっくり進みましょう。

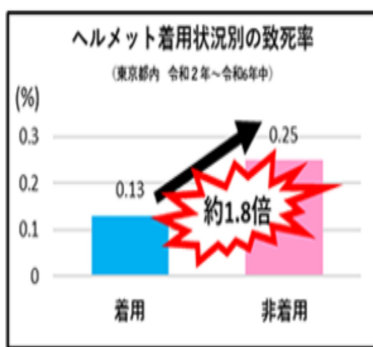
暗くなつたらライトをつ
けるのも忘れずに！ライト
をつけると車や歩行者に
自分の存在を知らせること
もできるのです。



自転車はとっても便利で
楽しい乗り物ですが、周り
の人たちや自分の安全を守
るためにルールを守って乗
ることが大切です。



ヘルメットの着用状況による致死率では、着用している場合と比較して、着用していない場合の致死率は1.8倍と高くなっています。ヘルメットを付けると守れる命があるのです。



の64%が頭部に致命傷を負い亡くなっています。

自転車に乗るときはヘルメットの重要性

命を守るために、交通ルールの勉強をしましょう。

問1 信号機の色が青色になつたら急いでわたる

問2 信号機のない横断歩道では、いつでもわたることができる

問3 止まれの標識は、車も自転車も止まって安全を確認する

答え合わせ
問1 答え ×
信号が青色になつたら近づいてくる車がないか、よく見てから渡りましょう。

問2 答え ×
車の運転手さんは皆さんに気が付かず止まらないかもしれないと右と左をよく見て注意して渡りましょう。

問3 答え ○
自転車も一度止まって周りの安全を確認する必要があります。

問1 信号機の色が青色になつたら急いでわたる

問2 信号機のない横断歩道では、いつでもわたることができる

問3 止まれの標識は、車も自転車も止まって安全を確認する

答え合わせ
問1 答え ×
信号が青色になつたら近づいてくる車がないか、よく見てから渡りましょう。

問2 答え ×
車の運転手さんは皆さんに気が付かず止まらないかもしれないと右と左をよく見て注意して渡りましょう。

問3 答え ○
自転車も一度止まって周りの安全を確認する必要があります。



海上保安庁より

夏はマリネジャーが活発になり、海での事故が最も多くなる季節です。海は楽しく遊べる場所ですが、危険も多く存在します。昨年、静岡県では海水浴場ではない場所で子供が「足がつく場所」で遊んでいたところ深みにはまって溺れてしまった。「離岸流により沖に流されて帰ってこれなくなった」といった事故が発生しております。

また、非常に稀ですが開設前の海水浴場で沖に流された外国人女性が二日後に80キロ流された海上で救助されたケースもありました。全国にみても海水浴場以外の遊泳中の事故は海水浴場の事故よりも多くなっていますが、それはなぜでしょう？海水浴場には海で遊んでいる人を監視してくれるライフセーバーや監視員がいます。海で遊んでいる人がおぼれたら、沖に流されたとしても海水浴場であればライフセーバー等が発見し助けてくれます。しかし、海水浴場ではない場所にはライフセーバー等がいないので、もし事故に遭ってもすぐに助けてもらえず、大きな事故に繋がります。そのため、海で遊ぶときはライフセーバーや監視員がいる管理された海水浴場で遊びましょう。

「ちよつとおかしいな」と感じたときは、無理に岸に戻らうとせず、焦らずに岸に対して平行に泳いでください。

●海では、離岸流に注意！
「沖に流されている？」と思ったら、海岸と平行に泳いで、10m～30mの範囲で離岸流を避けてください。

●海水浴場で泳ぐ
海水浴はライフセーバーや監視員がいる管理された海水浴場に行きましょう。

●立ち禁止の場所に入らない
海のそばには立ち禁止の場所がありますが、絶対に入らないでください。

●釣りなどの時はライフジャケットを着る
服を着たまま海に落ちると、泳ぎにくくなります。必ずライフジャケットを着ましょう。

